



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2023
4月号

●発行／一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作／株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

2023年度「栄養経営士」資格認定 基礎講習 東京会場開催 講習修了者の全累計は2,216人に



東京会場では、講師を務める本協会の宮澤靖代表理事が、病院の栄養部門が置かれている状況や多職種から期待される役割と実際の乖離など、厳しい現実

基礎講習は「栄養経営」という考え方の基礎や姿勢を学ぶ講義であり、「栄養経営士」資格認定試験の受験要件である。また、管理栄養士免許を持たない方が「栄養経営サポーター」として活躍するための登録要件にもなっている。

日本栄養経営実践協会が主催する2023年度「栄養経営士」資格認定基礎講習(以下、基礎講習)東京会場が4月16日(日)に開催された。今年度初の基礎講習は現地会場とWEB受講のハイブリッド方式で行い、現地参加の8人とWEB参加の24人、合計32人が参加。2015年のスタートから現在まで会場+WEBの受講修了者の累計は1633人、DVD修了者も含めると2216人となった。

医療人としての覚悟と責任を持ち 病棟常駐の海原に漕ぎ出そう

「基礎講習は「栄養経営」という考え方の基礎や姿勢を学ぶ講義であり、「栄養経営士」資格認定試験の受験要件である。また、管理栄養士免許を持たない方が「栄養経営サポーター」として活躍するための登録要件にもなっている。

その後は診療報酬改定での栄養関連の動きや国が考えるこれからの管理栄養士像を紹介し、期待される栄養部門に変わるためにどうすれば良いのかを説明。宮澤代表理事が勤務先である東京医科大学病院で行った部門改革の実例を挙げながら、これからの管理栄養士が進むべき道について解説した。

6時間にわたる長い講義であったが、宮澤代表理事が伝える力強い言葉を一言も聞き漏らすまいと、一生懸命メモを取る参加者たちの姿が印象的であった。

今後の基礎講習は7月に札幌、11月に仙台での開催が決定しており、すべての会場でWEB受講も可能である。WEB受講なら遠方の方も参加できるの、ぜひ活用して欲しい。

なお、基礎講習では「栄養経営士」「栄養経営サポーター」の参加も歓迎している。栄養を取り巻く状況の変化に合わせ、宮澤代表理事の講義の内容も年々ブラッシュアップしている。会員価格での参加が可能なので、ぜひ受講して新しい学びを見つけて欲しい。

参加者の声 基礎講習 修了レポートから

「現在勤務している病院では自分が一番経験年数が少なく、上司はカルテ診のみの判断が多いので、ベッドサイドに行くことが重要だと思っても、本当に自分の考えが正しいのか不安になることがたびたびありました。今回の講習を受けて病棟に出るべき理由が明確になり、大きな気づきとなりました。今後はきちんと意味のあるミールラウンドにしていきたいです」(Web・病院勤務)

「今の環境の問題点や不満点について周囲のせいにするのが多かったのですが、講習を受けたことで、知識が圧倒的に足りない、知識が足りないで発言ができない、発言ができないから多職種とのコミュニケーションが取れない、コミュニケーションが取れないから患者さんのためになることが何もあげられない……とすべてつながっているのだと気づきました」(会場・病院勤務)

「栄養部門の現状分析の質問事項に対し、講師からの解説、叱咤激励だけでなく、会場の参加者からもさまざまな課題が挙がり、現場で悩みながらも現場を改善しようと意欲的に取り組んでいる方たちの声を聴け、とても勇気づけられた」(Web・病院勤務)

「『患者は管理栄養士を選べない』。このお言葉は胸に突き刺さりました。患者にとって、担当になった管理栄養士の裁量によって運命が変わるかもしれないということ、また、出会った管理栄養士によってその方の考え方を良い方向に変えることができるかもしれないと改めて感じました。もうすぐ新人教育にも初めて携わることになります。医療の質向上に向けて自己研鑽し続け、今回の講習の内容を新人育成にも活かしてまいります」(Web・病院勤務)

「基礎講習は「栄養経営」という考え方の基礎や姿勢を学ぶ講義であり、「栄養経営士」資格認定試験の受験要件である。また、管理栄養士免許を持たない方が「栄養経営サポーター」として活躍するための登録要件にもなっている。

その後は診療報酬改定での栄養関連の動きや国が考えるこれからの管理栄養士像を紹介し、期待される栄養部門に変わるためにどうすれば良いのかを説明。宮澤代表理事が勤務先である東京医科大学病院で行った部門改革の実例を挙げながら、これからの管理栄養士が進むべき道について解説した。

今後の基礎講習は7月に札幌、11月に仙台での開催が決定しており、すべての会場でWEB受講も可能である。WEB受講なら遠方の方も参加できるの、ぜひ活用して欲しい。

なお、基礎講習では「栄養経営士」「栄養経営サポーター」の参加も歓迎している。栄養を取り巻く状況の変化に合わせ、宮澤代表理事の講義の内容も年々ブラッシュアップしている。会員価格での参加が可能なので、ぜひ受講して新しい学びを見つけて欲しい。

※詳細は下段の告知を
ご確認ください

「栄養経営士」資格認定基礎講習

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講も可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

(こんな方におすすめ)

- ・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

講習内容

オリエンテーション

「栄養経営士」に必要な能力について

1. なぜ、今栄養部門が重要になっているのか
2. 自分が勤める栄養部門の現状分析
3. 具体的な目標設定と達成に向けた実践的アプローチ
4. 部門の業務の質を高めるためのアウトカム指標とは
5. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
6. 病態把握能力と臨床栄養教育

■講師：宮澤 靖 代表理事ほか

■受講料(会場、DVDとも)：8,500円(税込) **会員価格：3,850円(税込)**

■時間：10:00~17:00(予定)

2023年度 日程決定!

会場	日程
東京	4月16日(日) 終了しました
札幌	7月23日(日)
仙台	11月18日(土)

●受講方法

①会場 ②Web(オンライン)

詳細・お申込みはこちらで
ご確認ください!▶



日本医療経営実践協会主催 給食部門の危機を乗り越えるための緊急セミナー

病院給食存続の危機をどう乗り切るか 管理栄養士の活躍がカギを握る

3月27日(月)、一般社団法人日本医療経営実践協会が給食部門の危機を乗り越えるための緊急セミナーをオンラインで開催し、本協会の宮澤靖代表理事が講師として登壇した。テーマは「知っておくべき給食部門の経営管理」。当日は、同協会会員である医療経営士のほか栄養管理士など約100名が参加した。

コスト高騰で見直す 病院管理栄養士の役割

食材費をはじめ物流費、光熱費等あらゆる分野での値上げが続く、病院経営において給食のコスト高が問題となっている。そこで、病院経営の現場で活躍する医療経営士を中心とした病院関係者に向け、今回のセミナーが行われた。

宮澤代表理事はまず入院時食事療養費が20年以上据え置きになっている現状に触れ、今や病院給食は全面委託・一部委託・直営のすべての形態で収支差額



リモートで講義を行う宮澤靖代表理事

「医療の質が上がる」と考え好意的にとらえているものの、管理栄養士側は「指導件数や特別食数を増やし、加算を取ることを目的にしている場合が多い。これではチーム医療は

栄養士が病棟に配置されることに対しほとんどの医師・看護師が「栄養士の質が上がる」と考え好意的にとらえているものの、管理栄養士側は「指導件数や特別食数を増やし、加算を取ることを目的にしている場合が多い。これではチーム医療は

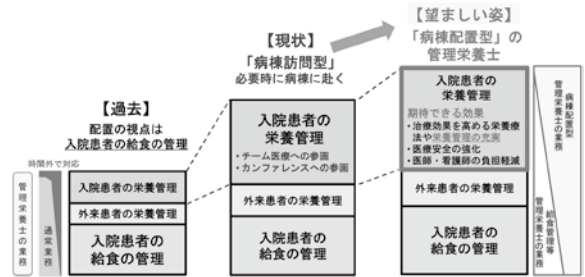
栄養士が病棟に配置されることに対しほとんどの医師・看護師が「栄養士の質が上がる」と考え好意的にとらえているものの、管理栄養士側は「指導件数や特別食数を増やし、加算を取ることを目的にしている場合が多い。これではチーム医療は

栄養士が病棟に配置されることに対しほとんどの医師・看護師が「栄養士の質が上がる」と考え好意的にとらえているものの、管理栄養士側は「指導件数や特別食数を増やし、加算を取ることを目的にしている場合が多い。これではチーム医療は

栄養士が病棟に配置されることに対しほとんどの医師・看護師が「栄養士の質が上がる」と考え好意的にとらえているものの、管理栄養士側は「指導件数や特別食数を増やし、加算を取ることを目的にしている場合が多い。これではチーム医療は

管理栄養士の業務のイメージ

- チーム医療が定着する前は、管理栄養士の業務は、給食管理が主であった。
○ 近年は、病棟での業務の増加により、入院患者の栄養管理の業務が主になってきている。
○ 入院患者の栄養管理を更に充実させるため、管理栄養士が病棟配置されることが望ましく考えられる。



中央社会保険医療協議会総会(第496回) 令和3年11月12日資料より

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になろう!

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー 「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性(26:35)
2) 症例1 78歳女性の場合(36:33)
3) 症例2 81歳女性の場合(36:40)

講師: 宮澤靖 (一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長)
視聴方法: パソコン、タブレット、スマートフォン ※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください
申込・お問い合わせ先: 日本ヘルスケア経営学院事務局 (株式会社日本医療企画内)
TEL: 03-3553-2862 E-mail: jissenkenkyu@jmp.co.jp

宮澤靖 日本栄養経営実践協会 代表理事
栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いできればと思っております。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

多職種協働やチーム医療のために医療全体の仕組みを理解することを意識しよう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第23回は3月29日(水)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、山下茂子理事、田中智美理事が出席し、参加者からの質問に対しみんなで意見を出し合いました。

今回のサロンは「栄養関連以外の法律は何を知っておくべき?」という質問からはじまりました。

最初に答えた吉田理事は「産業医になると労基法(労働基準法)は必ず学ばされる。基本的なことはシフトを組むときなど必要かもしれない。ただし覚えなくても、随時参照できればよいのでは」と語りました。

田中理事からは「労基法が変わり、自院の幹部職員はそのレクチャーをよく受けている。法律以外にはDPCのしくみとか看護必要度の話などを知っておくとよいと思う。そうすれば、他部署との協働で、看護師やリハ職が何を考えて動いているのかがわかる。もっと医療全体の仕組みを理解することを意識しておくとういと思う」とアドバイスがありました。

山下理事からは「昔は手段が限られていたので、新しいことを学ぶために管理栄養士が出ないような研修会にも参加して勉強した。今は何を調べればよいのかさえわかっている、ネットを使っているいろいろなことが調べられる。うまく活用してがんばって」とエールが贈られました。

宮澤代表理事は「労基法はマネジャーとしてはある程度知っておいた方がよいが、あとはその都度専門家に聞く、検索するでよいと思う」と言い、他の理事と同じ考えだと話しました。また「薬事法について管理栄養士はあまり知らないが、例えば厨房で経腸栄養剤を冷凍するとか成分栄養剤を混ぜるとかを行うと、薬事法違反になる。液体、粉末の形状を変えられるのは医師と薬剤師だけ。『ちょっとこれ凍らせて』なんてよく聞く話だが、厳密には違反であることを知っておいて」とあまり周知されていない情報を伝えました。

加えて「DPC対象病院でも自院の係数を知らない人がいる。たとえば、他院が高難度手術を多くやっているからと自院でも増やすと、重症患者が増えて入院期間が延び、群が下がる可能性がある。そんなときに、栄養療法で治癒を進めて入院期間を長引かせないようにするのが栄養部門の役割」と語り、参加者を鼓舞しました。

専門外のことを学ぶのは大変なことですが、その知識はきっと未来の自分に役立ちます。院内唯一の栄養専門職として、がんばりましょう! 「オンラインサロン」は今後も月に1回のペース

で実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

▼3月29日(火)の話題

- ・栄養関連以外の法律などは、どこまで把握しておけばいい?
・電子カルテと給食ソフトの導入で抑えておくべきポイントは?
・摂食嚥下チームが立ち上がることに、栄養科としてどう関わるべき?
・心臓病の特別加算食について納得できないことがあるので相談に乗って欲しい
・認知症で寝たきりの人へのアプローチの仕方で悩んでいます...

■栄養経営士 オンラインサロン

◇開催日時:5月31日(水) 6月26日(月) 18:30~20:00

◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター

◇参加費:無料

◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えるパソコン・タブレット等をご用意ください。

※後日、アーカイブ配信もあります。

※個別の症例の相談にはお答えできません。



日本栄養経営実践協会 推薦図書

もう1段階上をめざそう! スキルアップ、学び直しに最適

協会推薦図書一覧

通勤や休憩などの隙間時間を活用して、臨床業務や栄養活動に役立つ知識を身につけましょう! 協会が推薦する、栄養経営士の皆様にお勧めの書籍・雑誌をご紹介します。お得な会員価格でお求めいただけますので、ぜひご活用ください!

熱中症・脱水症に役立つ 経口補水療法ハンドブック[改訂版]



経口補水療法の理論から臨床現場や家庭における活用方法までを具体的に一般の人にもわかりやすく解説。小児や高齢者と関わる職業の方は必読の書です!

- 著者:谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長/栄養部長)
■体裁:A5判、並製本、172ページ
■定価:2,200円(税込)
■会員価格:1,760円(税込)
■ISBN:978-4-86439-164-1

日本における栄養社会史



脚気改善、栄養士の誕生、食育基本法の制定をキーワードに「日本の栄養行政」の歩みを読み解く、資料的価値の高い一冊。

- 編集委員代表:原 正俊(元厚生労働省栄養指導官(初代)/公益社団法人日本栄養士会参与)
■体裁:B5判、並製、132ページ
■定価3,300円(税込)
■会員価格:2,640円(税込)
■ISBN:978-4-86729-164-1

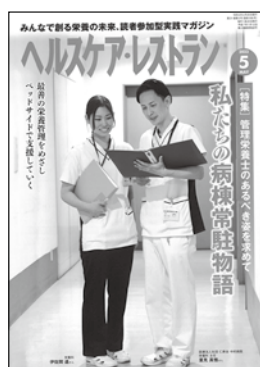
栄養管理プロセスを活用した 栄養指導事例集



栄養管理(ケア)プロセスの流れを基本に「日本人の食事摂取基準(2020年版)」を活用した栄養指導事例を紹介!

- 監修:中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長・日本栄養士会代表理事会長)
■定価:2,750円(税込)
■会員価格:2,200円(税込)
■体裁:B5判/168ページ
■ISBN:978-4-86439-978-4

ヘルスケア・レストラン



食事で病気を予防し治療効果をあげるための管理栄養士向け情報が満載、病院・福祉施設などの栄養ケアの向上に役立つ雑誌です。

- 毎月20日発行
■体裁:A4判
■年間購読:14,520円(税込)
■会員価格:16,116円(税込)
■ISBN:978-4-86729-081-1

「脱水症」と「経口補水液」のすべてがわかる本



脱水症の早期発見から水分補給に役立つ「経口補水液」の使用法までわかりやすく紹介した脱水症の正しい知識と対応法が身につく一冊です。

- 編集委員代表:谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長/栄養部長)
■体裁:A5判、並製本、104ページ
■定価:1,100円(税込)
■会員価格:880円(税込)
■ISBN:978-4-86439-726-1

◎推薦図書の購入方法

- 1 日本栄養経営実践協会の公式サイトにアクセス
2 左下にある「協会推薦教材・図書のご案内」というバナーをクリック
3 推薦図書購入方法のページにある会員専用注文書をダウンロード
4 必要事項を記入(13桁の認定登録番号必須)のうえ下記までFAX
※支払方法等の詳細は注文用紙をご確認ください。

申し込み先FAX:

03-3553-2904

★こちらのQRコードからもアクセスできます▶



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

三経営士合同研究会

医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士 関西支部合同研究会

外来や病棟の日常で起きる出来事には、法律で解決できることもたくさんあります。患者の行為/医療者の行為はどこからが違法なのか? 患者さんへの初期対応でミスしないコツはあるのか。よくあるケースに応じて医師で弁護士の専門家が解説します。

- 日程: 6月4日(日)14:00~16:00
※アーカイブ配信あり
- 会長: 山崎祥光氏(弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士)
- 参加費: 【会員】2,000円(税込) 【一般】3,500円(税込)
- 会場: 本町第2ビル 2F セミナールーム(大阪市中央区本町2-2-5)/Zoom
- 定員: 【会場】30名 【オンライン】50名 ※先着順
- お問い合わせ: 株式会社日本医療企画 関西支社(担当:新免)
TEL:06-7660-1761



協会事務局より

2023年4月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年4月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費: 有効期限が2022年4月20日~2023年4月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新: 会員資格が2020年4月20日~2023年4月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 振込期限: 2023年3月19日
- お問い合わせ: 一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

第14回 日本臨床栄養代謝学会首都圏支部学術集会 連携の先に見えるもの ~戮力協心の栄養サポート~

今回のJSPEN首都圏支部の大会は、本協会の宮澤靖代表理事が会長となり開催される。これから「多職種連携、タスクシフト」が推進され、連携が医療の現場での大きなキーワードになるところから、大会テーマは「連携の先に見えるもの」と設定された。先日の『NMEニュース』にご登場いただいた松本尚氏(衆議院議員・日本医科大学特任教授)による特別講演や、佐々木淳氏(医療法人社団悠翔会理事長)による教育公演等が予定されている。

プログラム

特別講演

座長: 大村健二氏(上尾中央総合病院 外科 センター長)
演者: 松本 尚氏(衆議院議員、日本医科大学 特任教授)

教育講演

座長: 水野英彰氏(目黒第二病院 副院長)
演者: 佐々木淳氏(医療法人社団悠翔会 理事長)

ランチョンセミナー

座長: 野村栄治氏(東海大学医学部付属八王子病院 消化器外科 教授)
演者: 宮澤 靖氏(東京医科大学病院 栄養管理科科长、日本栄養経営実践協会 代表理事)

2023年

5月27日(土) 9:30~17:30

◎会場 ステーションコンファレンス東京
(東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4~6F)

◎参加登録費
【事前登録】一般: 4,000円
JSPEN会員: 3,500円

※支払いはクレジットカードのみ
※事前登録は5/22まで

◎お問い合わせ
第14回日本臨床栄養代謝学会首都圏支部
学術集会運営事務局(株式会社インターグループ内)
E-mail:jspen_metro2023@intergroup.co.jp

会長



みやざわ やし
宮澤 靖

一般社団法人日本栄養経営実践協会
代表理事
東京医科大学病院 栄養管理科 科長

▶お申込みは
こちらから



2023年「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日: 毎日受験可能
- 受験料: 9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法: IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由してスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間: 通年
- 受験資格: 管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジ
メントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904